

# 公益社団法人日本ライフル射撃協会 2023年度第2回理事会議事録

日時：2023年7月8日（土） 13:35～16:00

場所：ジャパンスポーツオリンピックスクエア会議室1及びオンライン会議（Zoom）

出席者（\* テレビ会議による出席）

理事：総数27名中

松丸喜一郎会長、田村恒彦副会長、横山幸子副会長、平眞専務理事、大野明敏常務理事、三木容子常務理事、平井宏治常務理事、佐橋朋木常務理事、近藤正晃ジェームス常務理事、成山悟史常務理事、\*田中僚一郎理事、\*田口亜希理事、松島愛理事、酒寄貴瀬理事、穂苅美奈子理事、\*粟生由紀理事、\*寺澤良悦理事、藤枝操理事、\*横沢聡理事、尾崎和郎理事、高橋信吾理事、\*青木満博理事、五十嵐治人理事、\*田中辰美理事、\*堀水宏次郎理事  
以上出席25名

監事：総数2名中 \*岸高清監事 以上出席1名

議事録署名人：松丸会長、田村副会長、横山幸子副会長、岸高監事

平専務理事が13時35分に理事25名出席で成立するとの宣言をした。

議長：代表理事 松丸喜一郎

事務局が、オンライン会議システムにより、出席者の音声即時に双方向に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認して議案の審議に入った。

## 1 会長あいさつ

今回の理事会は、先日の臨時理事会で決定した新しい体制で実施される初めての理事会である。本日の重要審議事項は、各委員会のこれから2年間にわたる業務方針とその業務を担う委員について皆さんで決めていただく事である。本日の理事会より、報告事項は質問や意見のある報告のみ担当委員会から説明する方式を試験的に導入する。ご協力、よろしくお願いいたします。

## 2 会長提案

### 2.1 【追加】OES 報告及びE-Shooting の収益化について 資料なし

#### ● OES 報告

近藤マーケティング委員長が、次の通り、口頭にてOESの報告を行った。

6月末に開催され、世界中に配信された。6月24日に射撃のeSportsの決勝戦が行われた。Fortniteと提携したライフル射撃のeSportsは、10種目の中で最多のライブ視聴者数を獲得した。IOCのガイドラインに沿った特注のゲームである。世界のトッププレイヤーの招聘、当日の試合運営、交渉を含めて本会のマーケティング委員会が実施した。ISSFはオールジャパン体制で臨み、実現した。

#### ● eShooting（仮称）の収益化

近藤マーケティング委員長が、口頭にて、eShooting（仮称）の収益化の提案を行った。eスポーツ関係業務の外部組織は、マーケティング委員会の業務方針において説明する。本活動を行った原点は、射撃に興味のある若者の裾野を広げる事、及び新たな収益基盤として新規事業の柱を作る事である。OESの事業開発運営を国内で作る、パリに向けて進めていく。これに向けて最も大切な事は、人材と組織の組み立てである。兆円単位の大きな市場を多くの人々が切磋琢磨している。我々がボランティアとして片手間にできるものではない。

マーケティング委員会は、知見、実績、ネットワークのある方に入ってもらい、事業計画を出してもらい、責任をもって提案と実施をしてもらう。

従前の射撃のスポンサーとは別に、若者をターゲットとした新たなスポンサーを呼び込む。

このような外部組織の設立をマーケティング委員会として提案する。

議長より、マーケティング委員会から理事会へ事業計画を出してもらい、理事会で審議承認を行った上で、事業をすすめることが確認された。

## 2.2 【追加】愛知名古屋アジア競技大会準備組織について 資料なし

松丸会長より、口頭にて、次のとおり提案がなされた。

議長が理事会に諮り、案の通り理事会によって承認された。

- 愛知名古屋アジア競技大会準備組織を設立すること。
- 組織委員会へ本会からの常勤者推薦は、東海ブロックから本会へ推薦をあげてもらい、その内容を9月の理事会で諮る事。

## 2.3 その他

- 感謝状の贈呈

松丸会長より OES 大会の準備と運営に貢献いただいた関係スタッフに感謝状を贈呈することとし、本日来会いただいた金井玄氏と成瀬兼人氏へ、直接感謝状が贈呈された。

## <審議事項>

### 3 総務委員会

#### 3.1 【差替】各本部委員会方針と編成

- 選手強化本部

松丸会長より、資料「03.1-1\_【差替】各本部委員会方針と編成 選手強化本部会」に基づき説明があり、理事会にて修正が加えられ承認された。

#### 修正

堀水アスリート委員長は選手強化本部からは独立した立場であり、その構成員からは外す。

選手強化本部を開催する際には、開催通知を堀水アスリート委員長へ送り、選手強化本部もしくはアスリート委員長の要望に基づいて参加する。

#### 質疑応答

全体方針の決定とあるが、具体的には何を指すのか。(藤井彌事務局長)

→「本部及び委員会の運営に関する規程」において定められている選手強化本部の役割に基づいている。具体的には選手強化本部は、選手強化委員会にかかわる案件について、理事会に間に合わないものを承認する。その際に、基準となる基本方針が必要になるため。(松丸会長)

- 総務委員会

横山総務委員長より、資料「03.1-21\_【差替】各本部委員会方針と編成 総務委員会」に基づき説明があり、理事会にて修正が加えられ承認された。

#### 補足説明

総務部会は、次の2点に注力する。(横山総務委員長)

- 加盟団体内の紛争を防止するため、加盟団体諸規程の整備支援を行う事。
- ふるさと納税寄付を推進する事。

広報部会は、SNSによる情報発信に注力する。(横山総務委員長)

- コンプライアンス委員会

平コンプライアンス委員長が、資料「03.1-22\_各本部委員会方針と編成 コンプライアンス委員会」に基づいて説明し、訂正を反映した内容で理事会によって承認された。

#### 訂正

氏名の漢字を次のとおり訂正した。

高橋信吾→高橋信吾

穂刈美奈子→穂苺美奈子

- 推薦委員会

大野推薦委員長が、資料「03.1-23\_各本部委員会方針と編成 推薦委員会」に基づいて説明し、議長が理事会に諮り、案の通り理事会によって承認された。

#### 補足説明

APを銃砲店で保管出来るように、警察庁と法改正へ向けた交渉を行う。

オンラインで推薦委員会を開くようになったため、委員を全国から構成した。各地方の意見を聞きながら、推薦の適正化と効率化をはかる。

- 国体委員会

平井国体委員長が、資料「03.1-24\_各本部委員会方針と編成 国体委員会」に基づいて説明し、議長が理事会に諮り、案の通り理事会によって承認された。

#### 補足説明

大きな課題として、経費削減を求められている。

2巡目が終わろうとしており、3巡目に残らなければならない。

短期的なこと、長期的なことを含めて、経費削減をできることからやっていく。

- 選手強化委員会

佐橋選手強化委員長が、資料「03.1-25\_各本部委員会方針と編成 選手強化委員会」に基づいて説明し、議長が理事会に諮り、訂正を反映した内容で理事会によって承認された。

#### 補足説明

エリートアカデミー部会と FTEM タレント発掘部会を新設した。(佐橋選手強化委員長)

FTEMは、Totoくじ助成を受けている事業である。FoundationとTalentの両事業をあわせて、約1200万円の事業である。(松丸会長)

#### 訂正

氏名の漢字を次のとおり訂正した。

田中遼一郎→田中僚一郎

劉炫慈→刘 炫慈

- 競技運営委員会

三木競技運営委員長が、資料「03.1-26\_【差替】各本部委員会方針と編成 競技運営委員会」に基づいて説明し、議長が理事会に諮り、案の通り理事会によって承認された。

#### 補足説明

パラアスリートとの合同種目を含めた、種目の開発、整備、実施を行う。

次世代光線銃の検討会を設置して、既存の光線銃を検討していく。

- 普及・生涯スポーツ委員会

成山普及・生涯スポーツ委員長が、資料「03.1-27\_各本部委員会方針と編成 普及・生涯スポーツ委員会」に基づいて説明し、議長が理事会に諮り、訂正を反映した内容で理事会によって承認された。

#### 補足説明

9月の理事会までに、各委員会も将来構想に沿って整理をしてほしい（松丸会長）

#### 訂正

業務方針の中の「NRAJ 認定コーチの養成」→「JRSF 認定コーチの養成」

#### ● マーケティング委員会

近藤マーケティング委員長が、資料「03.1-28\_【追加】各本部委員会方針と編成 マーケティング委員会」に基づいて説明し、議長が理事会に諮り、案の通り理事会によって承認された。

#### 補足説明

- ふるさと納税による収入増の施策立案については、自治体（新宿区）と協議し、手続きを簡便にする。
- 体系的に収入源のオプションを並べて評価する
- 収益基盤の提言によっては、専門人材が必要になる可能性がある。

#### 3.2 【差替】2023 年度参事の就任、退任

- 藤井彌事務局長が、資料「03.2\_【差替】2023年度参事の就任、退任」に基づいて説明し、訂正を反映した内容で理事会によって承認された。

#### 訂正

総務委員会

3名→4名

推薦委員会

藤田志隠→藤田志穂

普及・生涯スポーツ委員会

新宮由貴→小野広人

マーケティング委員会

1名→3名

アスリート代表→アスリート委員会

2名→3名

ブロック、加盟団体推薦 学連

劉炫慈→刘炫慈

#### 3.3 【差替】理事、監事、本部・委員会委員等の出張、出役旅費に関する規程の改定

藤井彌事務局長が資料「03.3\_【差替】理事、監事、本部委員会等の出張、出役旅費に関する規程の改定」に基づいて説明し、訂正を反映した内容で理事会によって承認された。

#### 訂正

「別表2に、指導員、審判員、海外出役への謝金を追記する。日当ではなく、謝金となったため。」→削除

#### 補足説明

講師及びFTEMのNFコーチは、支給上限の10000円を謝金として支給する。

#### 質疑応答

FTEMのNFコーチは指導者を対象とした講義を行う場合に限り、10000円支給となるという理解でよろしいか、認定コーチの謝金8000円と差があるので業務内容を確認したいとの質問があった。（松丸会長）

→その通りであるとの回答がされた。（佐橋委員長）

#### 3.4 ビームライフル・ビームピストルおよびビーム標的の検定基準への公認料記載提案

藤井彌事務局長が資料「03.4\_ビームライフル・ビームピストルおよびビーム標的の検定基準への公認料記載提案」に基づいて説明し、修正を反映した内容で理事会によって承認された。

有効期限については、9月の理事会まで継続検討とする事になった。

#### 修正

公認料は暫定措置として承認する。有効期限については、掲載を見送る。

#### 質疑応答

ビームライフルは経年と共に精度にばらつきが出ることは、過去に問題として取り上げられた。

岐阜県にて調査を行い、精度にばらつきがあることが当時、確認されている。永年の認定はやめること、ある時点以前の製品は公認を取り消す議論が過去の理事会でなされているはずである。

当時の記録を調べた上で再度議論する。（松丸会長）

ビームピストルの公認シールには年度が書いてあるが、関係なく使って良い、という事なのか。

（青木理事）

→「ビームライフル・ビームピストルおよびビーム標的の検定基準」第8条2項に記載されているとおり、張り替えは不要であり、継続して利用して良い。（三木競技運営委員長）

#### 4 推薦委員会 審議事項なし

#### 5 国体委員会 審議事項なし

#### 6 選手強化委員会

##### 6.1 JOC エリートアカデミー事業 第5次事業 エントリーの件

佐橋選手強化委員長が、資料「6.1 JOC エリートアカデミー事業 第5次事業 エントリーの件」に基づいて説明し、議長が理事会に諮り、案の通り理事会によって承認された。

#### 7 競技運営委員会

##### 7.1 公認審判員

三木競技運営委員長が資料「7.1 公認審判員」に基づいて説明し、議長が理事会に諮り、案の通り理事会によって承認された。

##### 7.2 【追加】日本記録

三木競技運営委員長が資料「7.2 【追加】日本記録」に基づいて説明し、議長が理事会に諮り、修正を反映した内容で理事会によって承認された。

#### 修正

個人戦の種目のみを日本記録として審議する。団体戦はISSFのルールの変更に対して規程の整備が追いついていないため。

##### 7.3 射場公認(佐賀県)

射撃場の調査を行った平井常務理事が資料「7.3 射場公認(佐賀県)」に基づいて説明し、議長が理事会に諮り、案の通り理事会によって承認された。

#### 補足説明

国会としての公認は、公安委員会の公認後に公認するものとする。(平井常務理事)

#### 7.4 ISSF ルール改定に伴う国内ルールの一部先行改定

改定されたルールブックの翻訳を行っている平井常務理事が、口頭にて次の通り説明し、議長が理事会に諮り、案の通り理事会によって承認された。

- エアライフルについて、フロントサイトリングの中心またはポストサイトの先端から銃身軸線までの距離は、80mmまで可能になった。7.4.4.2 C
- エアライフルについて、フォアエンドの高さ、140mmまで可能になった。7.4.4.2 D
- ノンバーバルコーチングについて、文字を書いて見せるのはバーバルにあたらぬ事が明記された。
- 7月末の高校選手権より採用する。

#### 補足説明

ルール改定とは別に、準備と試射の時間になっても射座でコーチングをしている指導者がいる。競技会の射線に立った選手に対しては、コーチングはできない。試射と準備の時間がはじまったら、コーチングはしないことを今後要請していく。(平井常務理事)

#### 質疑応答

すぐに文書で出すこと(岸高監事)  
→承知した。(三木競技運営委員長)

#### 8 普及・生涯スポーツ委員会

##### 8.1 認定コーチの承認

成山普及・生涯スポーツ委員長が資料「8.1 認定コーチの承認」に基づいて説明し、議長が理事会に諮り、案の通り理事会によって承認された。

#### 9 マーケティング委員会 審議事項なし

#### 10 コンプライアンス委員会 審議事項なし

#### 11 アスリート委員会 審議事項なし

#### <報告事項>

#### 12 会長報告 会長提案にて包含

#### 13 総務委員会報告 報告事項なし

#### 14 コンプライアンス委員会 報告事項なし

#### 15 推薦委員会報告

##### 15.1 審査結果

大野推薦委員長が資料「15.1 審査結果」に基づいて説明した。

#### 補足説明

7月22日にオンラインにて、推薦担当者連絡会議を開催する。(大野委員長)

#### 16 国体委員会報告

#### 16.1 国体施設設置基準の都道府県ヒアリング結果報告

平井国体委員長が、資料「16.1 国体施設設置基準の都道府県ヒアリング結果報告」の事前提出をもって報告とした。質問などはなかった。

#### 17 選手強化委員会報告

##### 17.1 国際派遣及び試合結果報告

佐橋選手強化委員長が、資料「17.1 国際派遣及び試合結果報告」の事前提出をもって報告とした。

#### 質疑応答

アジア競技大会の選手については、JOCは随時認定ではないのか。(平専務理事)

→まだ名簿を出している段階なので、認定されるまでの手続きが完了され次第、その時点で認定になると理解している。(三木総務担当副委員長)

#### 18 競技運営委員会報告

##### 18.1 【追加】東アジアユースエアガン大会の役員体制報告

三木競技運営委員長が、資料「18.1 【追加】東アジアユースエアガン大会の役員体制報告」の事前提出をもって報告とした。質問などはなかった。

#### 19 普及・生涯スポーツ委員会 報告事項なし

#### 20 マーケティング委員会報告 会長提案にて包含

#### 21 アスリート委員会 報告事項なし

#### 22 会務報告

##### 22.1 名誉会長・名誉副会長・名誉会員・顧問・参与の訂正

清水寛顧問追記(記載漏れ)、田中福寿参与削除(ご逝去)

#### 訂正

福島美智子→福島智子

以上各業務執行理事より職務執行の状況報告があった。

16時00分議長が閉会を宣言した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、出席した代表理事および監事が記名押印する。

2023年7月8日

議事録署名人

公益社団法人日本ライフル射撃協会

議長・代表理事

松丸喜一郎

松丸喜一郎



代表理事

田村恒彦

田村恒彦



代表理事

横山幸子

横山幸子



監事

岸高 清

岸高 清

